

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費: 1口500円～/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



今月、誕生日の子どもたち、いい笑顔(カンボジア)

皆様のご支援、ご協力いつもありがとうございます。

5月の9日にオンラインで理事会を行いました。

本来は、共に集まって理事会を行う事を予定しておりましたが、コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催を余儀なくされました。理事会においては、全ての議題が無事承認された事を喜びつつ、皆様にこの場をおかりして御報告させていただきます。

総会は6月の13日を予定しており、なんとか共に集まったの総会となる事を願っております。

前回のニュースレターにおいても少しご報告させていただいた事ではありますが、海外の、私共孤児院を取り巻くコロナウイルスの影響は決して軽いものではなく、日本には中々情報が入って来ませんが、各国とも大変な状況の様です。

今のところ私共孤児院の中からは感染者は出ていないとの事ですが、このまま早く終結して欲しいと心底願っております。

このような状況ですので、各孤児院共今まで以上に強く運営費の安定を訴えてきておりますが、無理も無いことと理解しております。

このような状況の中、最後にはやはりいつもと同じお願いになってしまい、誠に恐縮ではございますが、どうぞこれからも皆様のご支援、ご協力、何卒よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。カンボジア国内での新型コロナ感染者は現在(5/10現在)122人、そしてここ数週間感染者は出ていないという状況ですが、感染防止の為の対応は継続して行われています。学校は休校が続いているので、子ども達が通園・通学している幼稚園と小中高の学校からは、継続して7~10日に1度の割合で宿題が出されていますが、今年は高校卒業試験を受ける子ども達が2人と高校入試を受ける子どもが1人いますので、学校の授業を離れては試験準備が難しいのでは、と思ったりしています。スタッフ達もサポートを続けていますが、新型コロナウイルスが1日も早く終息して、学校が再開されることを待ち望んでいます。また、子どもの1人が急な発熱と咳、頭痛などの症状が出て心配しましたが、病院を受診して検査の結果は気管支の炎症という診断でした。10日間ほどで無事に回復することが出来、他の子ども達は体調も守られて過ごすことが出来ています。現在の厳しい状況の中で、皆様からの変わらない孤児たちへの心温まるご支援を本当に感謝申し上げます。



健康管理の為、毎日子ども達とスタッフ達の体温を測っています

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

新型コロナウイルスが世界中の人々の生活に影響を与えています。子どもたちは学校が再開される日が来るのだろうかと心配しています。教育省はフィリピンの教育システムは大きく変化するだろうと予告し、現在の状況を考慮して以下の案について全国の保護者に聞き込み調査を行いました。

- 1) 新学期のスタートを遅らせる。
- 2) 今年度は授業を行わない。
- 3) オンライン授業とする。
- 4) テレビまたはラジオで授業を行う。

その結果5月5日に教育省は2020年度の学期は8月24日からとなるだろうと発表しました。ただしそれまでに感染が収まっていることが条件となっています。まだ先が見えない状況ではありますが、今年度は高校生7名、中学生15名、小学生21名、幼稚園4名、計47名を支援する予定です。学校登録料や授業料、学用品代等、計\$ 8,557.19の必要があります。是非子どもたちが引き続き学校の勉強を続けることが出来るように、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



昨年皆で学用品を買いに行った時の様子

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます!

ザンビアも若干コロナが広がっていますが、来月から9、11、12年生(全国試験を受ける学年)だけ授業再開することになりました。早く全ての学校が再開できる事を願っています。このような状況ですが、こどもたち、スタッフ達も皆元気で、お籠り生活を送れていることに感謝です。誰も文句を言わず、ケンカもなく、穏やかに過ごせていることが、奇跡のようでもあります。彼らの成長の証しです。

先月には孤児のための学校があるスラムで、保護者を対象に各家庭に、主食であるミルク25kgと、追加宿題の配布を行いました。経済の更なる悪化、物価の高騰等で、人々は困窮し、飢えに晒されています。特に孤児達の栄養状況は悪く、それ故に、学校給食を待ちわびている声が高まっています。今後もこのような緊急支援を続けていきたいと考えております。

皆様のご理解と更なるご支援をよろしくお願い致します。



食料配布に、受け取りに来た保護者と子ども

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。

3月20日のサンパウロ州の非常事態宣言以来、1週間に1度くらいスーパーに行く以外は全く外に出られない日々が続いています。今まで聞いたことのない鳥の鳴き声したり、満天の星空に初めて南十字星(?)とても大きな星を見ました。今日は商業施設の閉鎖が解禁になる予定の日でしたが、5月末までに延期され、まだ忍耐の時間が続きます。グアラパスで知り合いになった、政府系病院にお勤めの看護師の方に、メッセージで状況をお聞きしました。人口3万人の町グアラパスの新型コロナウイルス感染者は9人で、みな軽症で自宅隔離しているそうです。もしもの時にスマホアプリで無料で通話もできるので、心強いです。医師が必要と認めれば、薬局で検査もできるそうで、値段は380レアル(約7500円)。ここアラサトゥーバ(人口20万人)では感染者は84人で死者3人、政府系病院に入院している患者は14人です。ブラジルでの活動を継続して行くことができますよう、皆様のご支援を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



閑散としたバスターミナルにて